

施策評価シート

施策の概要(PLAN)		担当部局長	総合政策部長
総合計画の政策名	力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり		
基本施策名	1-1 市民参画・協働	取りまとめ	人権市民協働課
めざす姿	市民が主体に活躍できるまち		
	市民の意見を市政に反映する場や機会が充実しており、市民と行政の信頼関係から生まれた協働の考え方のもと、それぞれの役割や責任に応じた行動により、まちづくりが行われています。また、様々なテーマで活動する市民活動団体がまちづくりの担い手として活躍しています。		
施策の展開方向	①市政への市民参画の推進 ②市民協働の推進		

施策の成果指標と実績(DO)

		単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	① 地域活動やボランティア活動が活発なまちだと思ふ市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	60
		実績	%	51.8	—	—	—	—
	② 市政への市民参画の機会が増えたと思ふ市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	55
		実績	%	44.6	—	—	—	—
	③ 市民活動団体として登録している団体数	目標	団体	—	—	—	—	50
		実績	団体	9	51	—	—	—
	④	目標						
		実績						
	⑤	目標						
		実績						

施策内事業の集計		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総コスト計		千円	17,615	25,739				
事業費		千円	5,504	11,506				
人件費		千円	12,111	14,233				

施策の成果について(CHECK)

成果	目標達成度合い (評価)	C 概ね順調	理由	成果指標の1つである市民活動団体として登録している団体数は、すでに平成31年度目標値を達成していることから、左の評価とした。
成果				◆泉大津市参画及び協働の推進に関する条例に基づき、参画と協働のまちづくり推進会議を設置し、本市における参画と協働に関する施策の進捗状況を報告するとともに、それらに対する評価と今後の取組むべき課題等について意見交換を行い、次年度に向けた施策の方向性について意見を聴取することができた。 ◆がんばる市民公益活動団体応援補助金は、利用しやすいよう制度を見直したり、市民活動支援センターを通じて制度の周知を図るなど行ってきた結果、申請団体の増加が見られ、市民活動の活性化に寄与した。 ◆市民活動支援センターでは、団体同士の交流を図るための井戸端会議の開催や、センターニュースの発行、自治会との共催による交流イベントの開催等を通じて、主体的・自発的に公益活動を行おうとする市民や市民活動団体同士のネットワークの形成に寄与することができた。
課題				◆市民参画・協働の必要性の周知、啓発と市民活動団体の活性化

今後の施策の方向性(ACTION)

今後の施策の方向性	市民活動の拠点施設である市民活動支援センターの充実を図るとともに、市民活動の立ち上げ、自立を支援するため「がんばる市民公益活動補助金」についても制度の周知、充実を進め、団体活動の活性化や人材発掘、支援につなげる。また、有功者表彰や新年互礼会等については、引き続き継続して行っていく。
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり						
基本施策名		1-1 市民参画・協働						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	秘書広報課	受賞者表彰式(一般事務事業)	2,319	131	2,188	A	現行どおり	
2	秘書広報課	有功者表彰事業	4,492	663	3,829	A	現行どおり	
3	秘書広報課	新年互礼会事業	2,516	328	2,188	A	現行どおり	
4	人権市民協働課	市民協働推進事業	2,335	213	2,122	B	要改善	
5	人権市民協働課	市民活動支援センター運営事業	12,000	9,210	2,790	B	要改善	
6	人権市民協働課	特定非営利活動支援事業	2,077	961	1,116	A	現行どおり	
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			25,739	11,506	14,233			
事務事業の方向性	A 現行どおり	4 本	B 要改善	2 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本

施策評価シート

施策の概要 (PLAN)		担当部局長	総合政策部長
総合計画の政策名	力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり		
基本施策名	1-2 地域コミュニティ	取りまとめ	人権市民協働課
めざす姿	地域がつながり地域で課題解決できるまち		
	世代を超えた交流により、地域コミュニティが生まれ、程よい距離感で、顔見知りの関係が築かれています。地域活動のネットワーク化やリーダー育成などにより、身近にある課題を地域で解決できるまちとなっています。		
施策の展開方向	①地域コミュニティのネットワーク化の促進 ②地域コミュニティに対する意識の醸成と支援		

施策の成果指標と実績 (DO)

		単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	① 地域の中で人のつながりがあると思う市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	65
		実績	%	59.9	—	—	—	—
	② 地域活動の中心となるリーダーが育っていると思う市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	45
		実績	%	35.9	—	—	—	—
	③	目標						
		実績						
	④	目標						
		実績						
	⑤	目標						
		実績						

施策内事業の集計		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総コスト計		千円	10,284	26,268				
事業費		千円	6,154	20,574				
人件費		千円	4,130	5,694				

施策の成果について (CHECK)

成果	目標達成度合 (評価)	D 改善が必要	理由
成果			自治会活動や市民活動活性化のための様々な支援を行っているが、引き続き、より有効な支援のあり方を検討する必要があることから、左の評価とした。
課題	自治会活動に対する様々な支援を行っているが、自治会加入率は依然として低下傾向にある。地域コミュニティの活性化には、地域人材、団体の活性化が不可欠であり、自治会活動など市民、団体等への効果的な支援のあり方を引き続き検討する必要がある。		

今後の施策の方向性 (ACTION)

今後の施策の方向性	新たに創設した「地域コミュニティ活性化補助金」を含め、市民、団体等への支援のあり方について引き続き検討するとともに、小学校区を単位とした地域協議会の設立に向けた取組を、モデル地区を設定して実施する。
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり						
基本施策名		1-2 地域コミュニティ						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	人権市民協働課	自治会活動助成事業	8,951	5,489	3,462	A	現行どおり	
2	人権市民協働課	自治会活動助成事業(自治会館整備における補助)	15,915	14,799	1,116	A	現行どおり	
3	人権市民協働課	地域コミュニティ活性化事業	1,402	286	1,116	B	要改善	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			26,268	20,574	5,694			
事務事業の方向性	A 現行どおり	2 本	B 要改善	1 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本

施策評価シート

施策の概要 (PLAN)		担当部局長	総合政策部長
総合計画の政策名	力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり		
基本施策名	1-3 男女共同参画	取りまとめ	人権市民協働課
めざす姿	誰もが能力と個性を發揮できるまち		
	性別に関わらず、仕事や子育て、家事、介護など、あらゆる場面で男女が互いを尊重し、ともに責任を担い、協力しあうことで、誰もが能力と個性を發揮できるまちとなっています。		
施策の展開方向	①男女共同参画社会の実現に向けた環境整備 ②男女平等教育の推進 ③男女共同参画社会の実現に向けた活動支援		

施策の成果指標と実績 (DO)									
			単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	①	家庭生活や職場、学校、地域において、男女が平等であると思う市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	65
		実績	%	61.3	—	—	—	—	
	②	審議会委員の女性割合	目標	%	—	—	—	—	35
		実績	%	27.6	30.4				
	③		目標						
		実績							
	④		目標						
		実績							
	⑤		目標						
		実績							
施策内事業の集計			単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	総コスト計		千円	8,789	7,268				
	事業費		千円	1,405	1,228				
	人件費		千円	7,384	6,040				

施策の成果について (CHECK)				
成果	目標達成度合 (評価)	C 概ね順調	理由	成果指標の1つである審議会委員の女性割合が順調に上昇していることから、左の評価とした。
	審議会委員に占める女性の割合が30%を超えた。また、男女共同参画の拠点であるにんじんサロンで実施する各種セミナーの内容をより実務的な内容に見直しを行うとともに、新たに女性の活躍を支援するための再就職支援セミナーを幼稚園と連携して実施することができた。			
課題	男女共同参画の推進に向け、各種セミナーなどを実施しているが、子育て世代や男性の参加者がまだまだ少なく、今後、様々な世代が参加できるよう実施していく必要がある。			

今後の施策の方向性 (ACTION)	
今後の施策の方向性	男女共同参画推進のための各種セミナーなどを、その内容や実施場所、開催時間等、これまで参加してこなかった男性や子育て世代なども参加しやすいよう考慮して実施し、市民意識の醸成を図るなど、誰もが活躍できる社会の実現を目指す。

事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり						
基本施策名		1-3 男女共同参画						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	人権市民協働課	人権相談事業(女性相談)	755	307	448	A	現行どおり	
2	人権市民協働課	男女共同参画推進事業(フォーラム in 泉大津)	2,047	259	1,788	A	現行どおり	
3	人権市民協働課	男女共同参画推進事業(にんじんサロン)	4,466	662	3,804	A	現行どおり	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			7,268	1,228	6,040			
事務事業の方向性	A 現行どおり	3 本	B 要改善	0 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本

施策評価シート

施策の概要 (PLAN)		担当部局長	総合政策部長
総合計画の政策名	力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり		
基本施策名	1-4 人権・平和	取りまとめ	人権市民協働課
めざす姿	思いやりを持ち人権が尊重されるまち		
	人権教育や意識啓発が継続的に行われており、市民一人ひとりが人権を尊重する意識、平和への願いを持ち、安心して生活を送ることのできるまちとなっています。		
施策の展開方向	①人権教育・啓発の推進 ②平和に対する教育・啓発の推進		

施策の成果指標と実績 (DO)

		単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	① 差別やいじめ、虐待があるまちだと思う市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	0
		実績	%	9.9	—	—	—	—
	② 人権・平和に関する研修・講演会・セミナー等への参加者数	目標	人	—	—	—	—	580
		実績	人	512	557			
	③	目標						
		実績						
	④	目標						
		実績						
	⑤	目標						
		実績						

施策内事業の集計		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総コスト計		千円	15,074	16,972				
事業費		千円	5,018	5,132				
人件費		千円	10,056	11,840				

施策の成果について (CHECK)

成果	目標達成度合 (評価)	B 順調	理由	人権意識や平和意識の醸成を図るための事業を、市民が参加しやすいよう内容等に検討を加えながら行い、参加者の増加も見られることから、左の評価とした。
	◆憲法週間、就職差別撤廃月刊、男女雇用機会均等月間、国際識字デー、人権週間にちなむ街頭啓発や講演会、人権パネル展、人権啓発作品展などの事業を通じて人権尊重をアピールできた。 ◆また、平成25年度から実施しているピースディスカッションは、その内容の充実を図るとともに、平和メッセージ展や平和パネル展の開催を通じ、平和の大切さを発信することができた。			
課題	人権意識や平和意識の醸成は、その成果が目に見えるものとして現れにくい。			

今後の施策の方向性 (ACTION)

今後の施策の方向性	平和への願いや人権を尊重するまちづくりは、継続した取組が必要であるため、今後とも、効果的な事業のあり方について検討を加え実施する。
-----------	-------------------------------------------------------------------

事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり						
基本施策名		1-4 人権・平和						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	人権市民協働課	人権相談事業	4,176	1,606	2,570	A	現行どおり	
2	人権市民協働課	団体等育成支援(人権市民協働課)	4,964	2,060	2,904	A	現行どおり	
3	人権市民協働課	人権啓発推進事業	1,708	144	1,564	A	現行どおり	
4	人権市民協働課	人権行政推進事業	4,172	934	3,238	A	現行どおり	
5	人権市民協働課	非核平和啓発事業	1,952	388	1,564	B	要改善	
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			16,972	5,132	11,840			
事務事業の方向性	A 現行どおり	4 本	B 要改善	1 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本

施策評価シート

施策の概要(PLAN)		担当部局長	総合政策部長
総合計画の政策名	力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり		
基本施策名	1-5 多文化共生	取りまとめ	企画調整課
めざす姿	多様な価値観を共感できるまち		
	国内外の都市・地域との交流が活発に行われており、互いの慣習・文化の違いを理解し、多様な価値観を認め合える市民が増えています。また、グローバルな視点を持ち、国際社会に対応できる人材が育成されています。		
施策の展開方向	①国際化に対応する人づくり ②多文化共生をめざすまちづくり ③交流活動の推進		

施策の成果指標と実績(DO)									
			単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	①	自分とは違う価値観や慣習、他の地域・国の文化を理解しようとしている市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	77
		実績	%	71.6	—	—	—	—	
	②	市が関わる国際交流活動に参加したボランティアの数	目標	人	—	—	—	—	12
		実績	人	8	9				
	③	国際交流協会会員(個人・団体・法人)	目標	会員	—	—	—	—	85
			実績	会員	57	86			
	④		目標						
			実績						
	⑤		目標						
			実績						
施策内事業の集計			単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	総コスト計		千円	4,620	7,225				
	事業費		千円	1,611	2,985				
	人件費		千円	3,009	4,240				

施策の成果について(CHECK)				
成果	目標達成度合 (評価)	B 順調	理由	国際交流協会会員数は増加しており、新たな分野における海外研修も実施したことから、左の評価とした。
成果	◆新分野で実施した海外派遣研修(セーフコミュニティ活動における海外先進都市の視察研修)は、参加者全員から、「満足」とのアンケート結果を得た。また、研修後は、本市における当該事業・活動への積極的な参加があった。 ◆市が実施した国際交流事業(リトアニア視察団派遣)により、リトアニア共和国カウナス市との友好関係を深めることができた。また、これに関連して、在阪リトアニア人留学生による講演を開催するなど国際交流団体事業の活性化を図ることができた。			
課題	◆海外派遣研修の内容(分野、実施方法)の検討 ◆海外友好都市(オーストラリア・グレータージョーンズ市)との友好関係の深化 ◆今後増加が予想される希少言語を使用する在住外国人(タイ、ベトナム出身者等)への対応			

今後の施策の方向性(ACTION)	
今後の施策の方向性	市と国際交流団体が行う友好都市等との交流事業を一層推進していくとともに、市民ボランティアや市民団体との協働により、在住外国人の日常生活へのきめ細やかなケアを進めていく。あわせて、市民の海外派遣研修事業については、安全面への配慮をより一層行いつつ、新規分野での取組を検討する。

事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり						
基本施策名		1-5 多文化共生						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	企画調整課	フカキ夢・ひとづくり海外派遣研修事業	1,377	830	547	B	要改善	
2	企画調整課	国際交流事業(リトアニア視察団派遣事業)	4,039	2,056	1,983	A	現行どおり	
3	企画調整課	海外友好都市マラソン選手受け入れ事業	1,490	54	1,436	B	要改善	
4	企画調整課	国際交流事業(国際交流事業補助金)	319	45	274	B	要改善	
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			7,225	2,985	4,240			
事務事業の方向性	A 現行どおり	1 本	B 要改善	3 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本